

川上ダム通信

2013
9
月号



Vol. 96
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



地元住民の方々への事業説明会・現場見学会を開催しました



川上区の事業説明会の様子

川上ダム建設事業の実施に伴って集団移転頂いた川上区の方々に対する事業説明会を7月25日(木)に、また、霧生区の方々に対する現場見学会を7月27日(土)に開催しました。

川上区への説明会では、伊賀市公共事業対策室及び伊賀支所の方々にも同席いただきました。

霧生区への現場見学会では、当建設所での事業概要等の説明の後に、仮排水路トンネル、貯水池横断橋などの工事現場を見学していただきました。

両会では、当建設所職員が日頃の事業へのご理解に対して感謝を述べた後、川上ダム建設事業の概要や進捗状況、現在進めている付替県道青山美杉線の工事の進捗状況などについて説明しました。



貯水池横断橋工事を見学される霧生区の方々

これに対して、出席された方々からは、ダムや付替県道青山美杉線、伊賀市が実施する道路工事の完成見込みをはじめ、伊賀市が行っている利水計画の検討状況、工事現場では、ダムの本体はどこにできるのか、仮排水路トンネルは台風が来たときでも水が確実に流れるのか、といった質問などが出されました。

当建設所では、地元の皆様のご意見等をいただきながら、着実に事業実施に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

※事業説明会や現場見学会の開催などのご要望がありましたら、お気軽に職員へお声かけ下さい。

【第二用地課 高橋宏行】

付替県道青美線貯水池横断橋工事

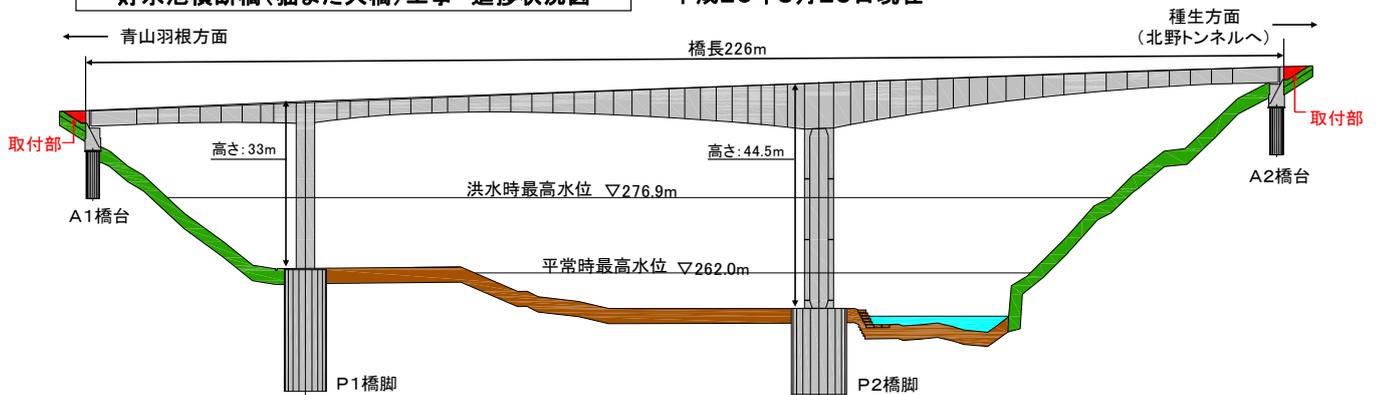
横断橋工事の進捗状況をご報告します。

A1橋台については、取付部の埋戻しが8月9日に完了しました。また、A2橋台については、8月23日に取付部のコンクリート打設を行い、A2橋台の打設が全て完了しました。

9月からは壁高欄を施工する予定です。(先月号でお知らせした壁高欄については来月号で紹介いたします。)

貯水池横断橋(猫また大橋)工事 進捗状況図

平成25年8月23日現在



A1橋台側より種生方面を望む



A2橋台側より青山羽根方面を望む

【工事課 溝尾邦男】

夏休みの一日～川上ダム建設事業を見学～

7月24日(水)に青山文化センターのやまびこ児童の皆さん、7月31日(水)に大山田小学校平松区と猿野区ましのの児童及び保護者の皆さんが川上ダム建設事業の見学に訪れました。

当日は、当建設所において水の大切さやダムの役割などについて勉強してもらった後、仮排水路トンネルとオオサンショウウオ保護池を見学してもらいました。

子供たちからは、「すごく長いトンネルで、こんな所に行ったことがなかったから良い経験になった。」や、「オオサンショウウオを



オオサンショウウオを間近で観察♪



仮排水トンネルを探索中♪

初めて見た。目や前足がかわいかった。」といった感想が寄せられました。また、夏休みの絵日記に、今回の見学会のことを書いてくれた子供たちがいると聞き、地域の未来を担う子供たちに、川上ダム建設事業について楽しく学んでもらう機会を提供できたと感じました。

【総務課 湯本洋】

桐ヶ丘夏祭りで川上ダム建設事業をPR!!

8月3日(土)、川上ダム建設予定地に隣接する伊賀市桐ヶ丘にあるタイヤ公園において、「第29回桐ヶ丘夏祭り」が盛大に開催されました。

当建設所からは、川上ダムの役割や、環境保全への取組み、現在実施中の工事概要などを説明するパネルの展示と、川上ダムにちなんだクイズを行うブースを出展しました。

ブースには、年齢を問わず多くの方々が訪れ、一生懸命クイズにチャレンジしていました。



盆踊りで賑わう桐ヶ丘夏祭り



クイズにチャレンジ中!

クイズの最中、「ダムはいつできるのか?」、「付替道路はいつ全線開通するのか?」、「ダムができて桐ヶ丘団地は安全なのか?」といった質問が寄せられ、職員が一人ずつ丁寧に回答する場面も見られました。

こういったクイズや質疑応答を通じて、地元住民の方々へ事業に関する説明を直接行うことができ、非常に有意義なPRができたと感じました。

最後に、このような機会を設けて頂いた桐ヶ丘自治会の皆様に、本誌面をお借りして御礼申し上げます。

【調査設計課 遠本和也】

伊賀市高尾のパワースポット～逆柳の甌穴～



ここに直径約1.5m、深さ約4mの甌穴があります。

甌穴に降りる参加者

7月28日(日)、伊賀市高尾にある県の天然記念物「逆柳の^{さかやなぎ}甌穴^{おうけつ}」で第6回甌穴まつりが開催されました。

この甌穴は、平安朝時代この地で勢力を誇った豪族、^{ふじわらちかた}藤原千方と^{よんき}四鬼(金鬼・^{きんき}風鬼・^{ふうき}水鬼・^{すいき}隠形鬼)が朝廷軍と戦った折、討ち取った敵の首を投げ込んだとの言い伝えがあり、^{ちこべがいど}血の首の井戸から「血首ヶ井戸」と呼ばれ、断ち切るという意味合いから縁切り祈願にも霊験があるとか。干ばつの際には、首に見立てた丸くなった石を甌穴から取り除くと、千方が怒り雨を降らすと言われ、村総出で雨乞いの祈願をおこなった場所でもあり、地元では古くからパワースポットとして知られています。

お祭りの当日は天候に恵まれ、訪れた約300人は、安全祈願の後、甌穴内の見学、厄よけ石の投げ込み、四鬼を率いる藤原千方との記念撮影や、^{ます}鱒のつかみ取りなど、大自然の中で楽しく一日を過ごしました。

普段、甌穴は川の流れの中にあり、内部を目にすることは出来ないのです、ご興味のある方は次回のお祭りにお越し頂ければと思います。

※甌穴とは、川底のくぼみに入った石が水流で回転して岩を削って作られる穴のことで、普段は川底に沈んでいます。



^{ふじわらちかた}藤原千方と^{よんき}四鬼

【総務課 梅村喜重】

夏の豪雨の要因～積乱雲の発達～



発達した積乱雲の外観（気象庁 HP より）

今年の夏は、高知県で日本全国の史上最高である気温 41℃を記録するなど、厳しい暑さに見舞われましたが、その一方では、7月28日の山口県・島根県での大雨をはじめ、日本各地の至るところで局地的かつ短時間での強い雨が観測されており、相次いで被害が発生しています。

このような豪雨の主な発生原因は、夕立などに代表される「積乱雲」の発達にあります。

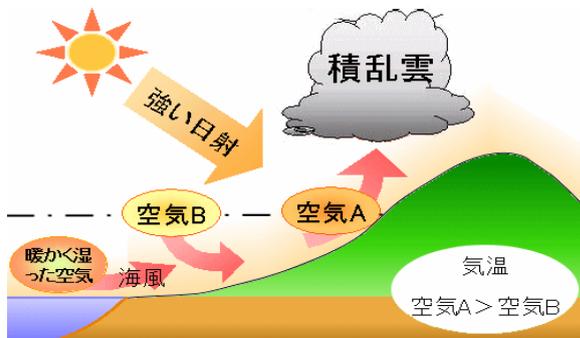
「積乱雲」とは、強い上昇気流によって鉛直方向に著しく発達した雲であり、強い日差しで地表面付近の大気が暖められ、上空に強い寒気が入ってきた時、いわゆる「大気が不安定な状態」の時に発生しやすくなります。台風の周囲に発達する雨雲も積乱雲に分類されます。

積乱雲による豪雨の発生は年々増加する傾向にあり、伊賀地方においても例外ではなく、過去に比べて短時間での強い雨が増えています。川上ダム建設予定地上流の高尾地点で降った※強い雨の年間発生回数を、ここ10年間とそれ以前で比較すると、1.2～3倍近くに増えています。また、近年では、これまで経験したこともない時間80mm超えの雨量をも観測しており、豪雨の猛威が迫っているように思われます。

9月は、暦上では秋に移り変わる時期です。後半になるにつれて気温が下がり、過ごしやすい季節となりますが、残暑が続く間は積乱雲が発達しやすい環境が続きます。また、過去に日本列島へ上陸した台風回数が8月に次いで数が多い月であり、豪雨が発生する可能性が高い時期です。

豪雨による災害から身を守るためには、日頃からの準備が大切です。いざという時の避難経路の確認や気象情報の入手など、豪雨に備えるよう日頃より心がけましょう。

※ここでいう「強い雨」とは、気象庁が公表している雨の強さの定義のうち「強い雨」以上を指しています。



積乱雲の発生メカニズム（松江気象台 HP より）

強い雨の年間平均発生回数（高尾地点）

呼 称	時間雨量	S60～H14 の平均	H15～H24 の平均
強 い 雨	20～30mm	3.3回	4.1回
激 し い 雨	30～50mm	0.9回	1.9回
非常に激しい雨	50～80mm	0.1回	0.3回
猛 烈 な 雨	80mm以上	0.0回	0.1回
合 計		4.3回	6.4回

※上表の呼称とは、気象庁が「雨の強さ」を示す時に用いる用語です。

【調査設計課 遠本和也】

転出者のご紹介

8/1 付け転出者

所 属	氏 名	転 出 先
総務課（工務課兼務）	鶴牧美鈴	総合技術センター（埼玉）

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、川上ダム通信が皆様により一層親しみながら読んで頂けるよう、本誌に対するご意見や、掲載記事を募集しています。詳細については、下記までご連絡頂きますようお願いいたします。

【問い合わせ先】総務課 梅村

T E L : 0595-52-1661 Mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など個人の営利目的のものはお受け致しかねますのでご了承下さい。

編集後記

今年の夏も厳しい暑さに見舞われましたが、ようやく「秋」に移り変わる時期がやってきました。

例年通りの気候であれば、9月上旬までは残暑が続きますが、それ以降は徐々に気温が低下し、過ごしやすくなると思われます。秋は、「食欲の秋」、「スポーツの秋」に始まり、「〇〇の秋」と称されることが多い季節です。

夏の間、暑さに負けてクーラーのきいた部屋で引き籠もっていた方も、この過ごしやすい季節にお出かけされ、「秋」を満喫されては如何でしょうか？

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長）
記者	湯本（総務課）	渡辺（総務課）
	本山（第一用地課）	高橋（第二用地課）
	遠本（調査設計課）	飯島（環境課）
	廣瀬（工事課）	日隈（工務課）